

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 4月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話)		
自己評価作成日	令和2年2月28日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3473200388-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年3月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックが経営しているので、医療、薬剤的にバックアップ体制が整っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は大通りから少し中に入った住宅地にあり、3階建ての建物に2ユニットで展開している。地域との関係構築に尽力しており、地区会長や民生委員から地域の様々な行事の案内があり参加することが、利用者の楽しみとなっている。避難訓練も近隣住民の参加があり協力を得るなど日頃より地域と良好な関係が築けている。又、事業所玄関入りロスペースの一部を小学生の通学待合場所として提供しており、利用者も毎朝児童と挨拶を交わし見守りを行うなかでふれあいに楽しみややりがいを実感でき、社会性を持った活動の実践で地域や人とつながる取り組みが行われている。母体が医療法人の為、定期的な往診や、医療と24時間体制で連絡をとることができている。更にかかりつけ薬局との連携も行っている。

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮らしていけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認して、実践している。	理念、運営姿勢を事業所入口に掲示しており、「地域と一緒に育ち貢献していくこと」を掲げ日々尽力している。3ヶ月に1回のミーティングや、日頃の業務において施設長が伝えることで適宜確認しながら行っている。施設長、リーダーは個々に目標を作り事業所が成長を遂げられるよう意識を強く取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域に人たちとの挨拶、お話、声掛けをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受入れをしながら、交流している。中学生の職場体験の受入れ、ボランティアの踊りやマジックの披露、朝の小学生との交流などを行っている。	事業所駐車場を小学生の通学待合場所に行っていることで、小学生と毎朝ふれあいを持つことや、民生委員が近所の入居者への訪問、地区会長から町内会の行事案内により地域行事に参加するなど、日頃からの地域との付き合いや地域の一員としての関係性が築かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で認知症のことを入居者の家族、地域住民、民生委員に説明し、理解をしてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で事業所での近況を報告し、悩み事を相談したり、出席者との意見交換し、ミーティングで検討し、実践、対応している。	会議には、利用者家族代表、民生委員、町職員、地域包括支援センター、地域住民と各関係者の参加があり運営や活動報告、子供食堂の話があがるなど活発な意見交換が行われている。外出に困っていることに対し、地域のボランティアやシルバー人材センターより紹介があり対応した例もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	管理者が町の担当者を訪問したり、町の担当者が運営推進会議の出席により、意見交換をして情報交換をしている。	日頃から相談事があれば連絡をとり確認していくことや、運営推進会議で町の担当者と意見交換を行っている。町が主催する研修に参加や福祉まつりに毎年参加し協力を行うなど協力関係を築く取組みを行っている。地域包括支援センターより認知症カフェの要望もあり前向きに検討している。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化の委員会の会議を開いたり、研修の機会を設けている。合わせて、事業所でのミーティングで確認をしている。	定期的な研修やミーティングを通して身体拘束をしないケアに理解を深めている。見守りを強化し利用者と深く関わっていく取り組みを日頃から実践し、身体拘束をしないケアを実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束適正化の委員会の会議や研修で虐待のこをを確認をして、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ミーティングや資料の回覧、研修で確認をして理解するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の凍結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が納得して、サインしてもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、対応している。運営推進会議のメンバーにも話し合いの場を設け、意見や報告をしている。	家族には面会時に意見を伺い、外出希望者にボランティアを依頼し対応を可能としたり、オムツ費用の負担が大きいという意見には、排泄支援の取り組みを検討実践し、費用が減り助かった事例もある。利用者には日々の生活から意向を確認し、飲酒希望者は、少し飲める機会をつくるなどその都度対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者は事業所へ週一回訪問をして、現場の意見を聞いている。管理者は、随時、話し合いの機会を設けている。	職員の意見により遅出の勤務時間の変更が行われた。日用品や消耗品など業務に必要な要望はその都度対応したり、物品購入もできるだけ応えられるよう検討している。ソフト面、ハード面ともに職員が働きやすい環境の構築に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の実績、勤務状況に応じて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、働きやすい環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会を見て外部研修会に参加させたり、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、ミーティングのなかで研修をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の居宅支援事業所や特養、医師会、日本認知症グループホーム協会との交流があり、情報交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族から状況、要望を聴いたり問い掛けたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人と一方的な関係性にならないように、お互いが理解し、支えていき、信頼関係を築いていくように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員と家族がお互いに相談しあえる関係を築きながら、共に支えていくように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	機会を見て、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの店に行ったり、親戚関係に訪問したりしている。	馴染みの関係を把握し、連絡をとり面会に来てもらう事や、利用者が懇意にしている美容院や喫茶店に行けるよう支援している。墓参りに行くなど利用者が大切に思っている馴染みや思い、関係を繋げる取り組みも実践している。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	さまざまな趣味や習い事、行事を通して交流し、利用者同士の関係を築いて支えあっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、利用者や家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望にできるだけ添うように心掛けて対応している。家族にも相談しながら協力してもらっている。	日々の会話や関わりから利用者の意向を確認し、入居以前の暮らしやアセスメントを行うことで本人の思いの把握に努めている。絵を書くことを習いたい、外出したいなど利用者の自発的な意向や意見にできる限り添えるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで暮らしてきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人と家族の意見を取り入れ、担当者、管理者、介護支援専門員と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえ介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>	<p>利用者ごとに担当職員を決めて深く関わることで、意向や様子を詳細に把握している。それを基に計画作成者が介護計画を立案し、ミーティングを全員で行い決定している。また、医療と適宜連携を図ったり、3ヶ月に1回モニタリングを行ったことを、介護計画に反映している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子は些細なことでも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今までの本人や家族の環境、現在の状況に応じて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援を進めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域の方々やお店、民生委員、ボランティアの協力をえながら、支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の要望を取り入れて、かかりつけ医、主治医と事業所との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともある。</p>	<p>利用入居時に主治医が継続できることを伝え、協力医と選択できる。近隣に母体である医療法人があり、往診や有事の対応などに安心感が強いことから、協力医を選択する利用者が多い。歯科の往診や、必要時に専門科への受診支援があり、安心して医療が受けられる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の医療機関にはいつでも対応できるような相談しあえる体制があり、情報交換をしている。医師会にも協力をえている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人や家族の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。	入居時に重度化に係る指針、看取りについての指針を説明し、事業所で可能な限りの支援に努めている。過去1年間で3名の看取りがあり、協力医や母体であるクリニックの看護師と24時間体制で連携がとれ、利用者、家族の希望に添う支援を行っている。研修も行いスキルアップにも努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有して、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を実施したり、消防職員に協力をえたり、運営推進会議で地域の方々に協力をお願いしている。地域の方々には避難訓練に参加したりしている。	夜間想定をふまえ避難訓練を定期的実施している。訓練には地域の方の参加もあり、いざという時への協力関係も築かれている。備蓄も3日分を備えている。施設長は今後地域の防災に協力や参加をしていきたいと強い意向がある。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今までの環境、現在の状況を考慮し、一人一人に合う対応に心掛け、失礼のない目上に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。	外部研修で学んだ事を伝達研修で全職員に周知し、共有している。利用者への尊厳についてミーティングで意見交換を行い、リーダーが現場で職員に指導先導し全員が意識を高めている。紙おむつなども箱に入れ目につかないように工夫をし配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、気づきに注意して、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースにあうように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員が出来ることは対応して、美容院の方にも訪問して散髪などをしてもらい、身だしなみの相談も受けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	家族に好みなどを相談しながら、できる限り一人ひとりに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片づけをしている利用者もいる。	昼食は品数が多い配食弁当で、食事準備時間を削減し、その分利用者に関わる時間を増やすよう意図して効果を上げている。朝夕は手作りで、利用者の意向も反映している。ホットケーキやお好み焼きを作る調理レクリエーションを取り入れながら楽しみとなる食事の提供を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの毎食の量、水分が記録しており、それらの状況を把握して対応をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、定期的に歯科医に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の状況、排泄記録をみて、定期的に声掛けをし、トイレ誘導をして排泄してもらい、失敗やおむつの使用を減らすように支援している。</p>	<p>利用者の様子や排泄チェック表で尿意や排泄感覚を把握し、定期的な声掛けでトイレ誘導を行っている。便が出やすい食事の工夫や散歩、レクリエーション等の運動、主治医や薬剤師に相談をし、対応してきたことがトイレでの排泄の促しとなり、オムツの使用が減少するという効果もみられた。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動の取り入れをしている。場合によっては、主治医や薬剤師に相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、希望があればいつでも入浴、シャワーをして対応している。</p>	<p>週に2～3回午後から入浴を行っているが、希望があればいつでも入浴可能としている。身体状況により入浴困難な利用者には、職員2人で介助を行う。浴室には手すりや滑らないよう環境を整えている。シャンプーも好みにより個別に用意でき安心して心地よく入浴ができる環境を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一応の昼寝の時間を設けている が、一人ひとりの状況をみなが ら、いつでも休んでもらえるよ うに対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>一人ひとりの薬についての資料 が薬局から届いており、それら を理解して、服薬をしている。 何かあればいつでも薬剤師に 相談できるようにしている。週 一回、薬剤師に来てもらって いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>今までの暮らしの環境を考慮し て、役割を担当してもらったり 、習い事や趣味を楽しんでもら ったり、時には外出して買い物 をしてもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの意向に沿って、散 歩や買い物をしたり、公園で食 事をしたり、法事やお墓参りに 行ったりしている。場合によっ ては、家族、ボランティアに協 力してもらいながら対応してい る。</p>	<p>花見や紅葉狩りなど行事での外 出が定例の楽しみとなっており 、日常的な散歩や買い物に行く など外出機会を意識してもつよ うにしている。季節によりお弁 当を持参して近隣の総合公園に 出かけている。ボランティアの 支援を取り入れ、希望に添える 外出支援も実践している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>基本的にはお金の管理はしてい ないが、家族に相談しながら希 望があれば、一緒にコンビニや スーパーでお金を使い買い物 をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族との相談にもよりますが、希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには季節、行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真をはったり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心掛けている。</p>	<p>リビングは季節ごとに利用者で作成した作品や写真が掲示してあり、花を飾るなど落ち着いたアットホームな空間となっている。4階の屋上庭園は、散歩道が整備され散策をしたり、ご飯を食べることができる。多目的室は行事などイベントに使用し、地域にも開放している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>各部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上など、いつでも自由に使って過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人や家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などをもってきてもらったり、自由に置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。</p>	<p>居室にはベッドや洗面台、クローゼットが備え付けてあり、家族の写真などが飾られている。ダンスや仏壇など利用者本人の馴染みの家具や丁度品の持参もそれぞれあり、思いや意向を汲み取った環境整備を支援し、個々に居心地の良い空間となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーに対応しており、廊下やトイレに手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする機器がり、いつでも自由に使えるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(1) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮らしていけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認して、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域に人たちとの挨拶、お話、声掛けをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受入れをしながら、交流している。中学生の職場体験の受入れ、ボランティアの踊りやマジックの披露、朝の小学生との交流などを行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で認知症のことを入居者の家族、地域住民、民生委員に説明し、理解をしてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で事業所での近況を報告し、悩み事を相談したり、出席者との意見交換し、ミーティングで検討し、実践、対応している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者が町の担当者を訪問したり、町の担当者が運営推進会議の出席により、意見交換をして情報交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束適正化の委員会の会議を開いたり、研修の機会を設けている。合わせて、事業所でのミーティングで確認をしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束適正化の委員会の会議や研修で虐待のこをを確認をして、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ミーティングや資料の回覧、研修で確認をして理解するようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の凍結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が納得して、サインしてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、対応している。運営推進会議のメンバーにも話し合いの場を設け、意見や報告をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は事業所へ週一回訪問をして、現場の意見を聞いている。管理者は、随時、話し合いの機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の実績、勤務状況に応じて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会を見て外部研修会に参加させたり、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、ミーティングのなかで研修をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の居宅支援事業所や特養、医師会、日本認知症グループホーム協会との交流があり、情報交換している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族から状況、要望を聴いたり問い掛けたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人と一方的な関係性にならないように、お互いが理解し、支えていき、信頼関係を築いていくように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員と家族がお互いに相談しあえる関係を築きながら、共に支えていくように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	機会を見て、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの店に行ったり、親戚関係に訪問したりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>さまざまな趣味や習い事、行事を通して交流し、利用者同士の関係を築いて支えあっている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>必要に応じて、利用者や家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の希望にできるだけ添うように心掛けて対応している。家族にも相談しながら協力してもらっている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>今まで暮らしてきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人と家族の意見を取り入れ、担当者、管理者、介護支援専門員と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえ介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子は些細なことでも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今までの本人や家族の環境、現在の状況に応じて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援を進めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域の方々やお店、民生委員、ボランティアの協力をえながら、支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の要望を取り入れて、かかりつけ医、主治医と事業所との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の医療機関にはいつでも対応できるような相談しあえる体制があり、情報交換をしている。医師会にも協力をえている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人や家族の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有して、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を実施したり、消防職員に協力をえたり、運営推進会議で地域の方々に協力をお願いしている。地域の方々には避難訓練に参加したりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今までの環境、現在の状況を考慮し、一人一人に合う対応に心掛け、失礼のない目上に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、気づきに注意して、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースにあうように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員が出来ることは対応して、美容院の方にも訪問して散髪などをしてもらい、身だしなみの相談も受けてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	家族に好みなどを相談しながら、できる限り一人ひとりに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片付けをしている利用者もいる。		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの毎食の量、水分が記録しており、それらの状況を把握して対応をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、定期的に歯科医に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の状況、排泄記録をみて、定期的に声掛けをし、トイレ誘導をして排泄をもらい、失敗やおむつの使用を減らすように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動の取り入れをしている。場合によっては、主治医や薬剤師に相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、希望があればいつでも入浴、シャワーをして対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一応の昼寝の時間を設けているが、一人ひとりの状況をみながら、いつでも休んでもらえるように対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>一人ひとりの薬についての資料が薬局から届いており、それらを理解して、服薬をしている。何かあればいつでも薬剤師に相談できるようにしている。週一回、薬剤師に来てもらっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>今までの暮らしの環境を考慮して、役割を担当してもらったり、習い事や趣味を楽しんでももらったり、時には外出して買い物をしてもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの意向に沿って、散歩や買い物をしたり、公園で食事をしたり、法事やお墓参りに行ったりしている。場合によっては、家族、ボランティアに協力してもらいながら対応している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的にはお金の管理はしていないが、家族に相談しながら希望があれば、一緒にコンビニやスーパーでお金を使い買い物をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族との相談にもよりますが、希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるようにしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節、行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真をはったり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心掛けている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上など、いつでも自由に使うて過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などをもってきてもらったり、自由に置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーに対応しており、廊下やトイレに手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする機器がり、いつでも自由に使えるようにしている。		

V アウトカム項目(2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム安芸ひまわり

作成日 令和2年5月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の出席者が変わらないので、同じような内容になる。	運営推進会議を活性化させる。	運営推進会議の出席者を少しずつ変えていき、意見、内容を変化させる。	三ヶ月以内
2	6	身体拘束適正化の委員会の内容が同じようになる。	身体拘束適正化の委員会を活性化させる。	身体拘束適正化の委員会の出席者を少しずつ変えていき、意見、内容を変化させる。	三ヶ月以内
3	49	入居者、職員の状況があるが、外出の機会が少ない。	出来るだけ外出の機会を設ける。	職員以外の家族やボランティアなどの外部の人材を活用して外出の機会を設ける。	三ヶ月以内
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。